家園

第28号

特定非営利活動法人
中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7
ペガサスミシンビル 1 階
TEL：03-3835-9357　FAX：03-3835-9358
http://jc-yuko.com/

字体作者：周慧珺

2022 年 7 月 13 日、後藤茂之厚労大臣と面会

目　　次

★ 活動写真 2
★ 2022 年度定例総会開催 3
★ ある二世の履歴書（連載②） 4
★ 2 世からの便り 5
★ 心の声 6
★ 伊藤章先生記念 7
★ 活動記録・お知らせ・編集後記

活動記録写真

総会の光景（NPOB1F 活動室にて）

懇親会（４月１６日）

荒野座の公演に客演

日本舞踊教室（浅草橋区民館にて

太極拳教室

健身舞踊教室（社会教育センターにて）

2022 年定例総会開催

（文：河村忠志　翻訳：祖父江安紀子）

第 14 回定期総会が、6 月 18 日午後、本会 B1F 活動室で開催されました。2021 年度事業報告・活動決算 2022 年度事業計画・活動予算についての報告があり、審議の結果、議案は全員一致で通過しました。

今回の総会は、新型コロナ感染拡大の波が、繰り返し襲ってくる中での開催となりました。この 2 年以上にわたり、この新型のウィルスは私達の生活をかき乱してきました。特に 2021 年度の感染状況は激烈であり、東京都が何度も「緊急事態宣言」を発出する中、私達は“社会福祉相談窓口”の運営を続けてきました。また、ネットワークグループ方式を活用して連絡を取り合い、教室ごとに区民館などいろいろな施設に分散して活動し、帰国者達の孤独や寂しさを癒す努力を続けてきました。また“餃子工房”も影響を受けました。餃子を製造する回数も減少しましたが、皆様の需要にお応えするよう、“餃子工房”の看板を守り続けました。感染拡大期間中どのような状況下でも、墓地管理委員会は、お亡くなりになった帰国者の為に、人生最後の仕事に立ち会うことを続けました。感染拡大期間中、介護事業部の「通所介護一笑苑」では感染防止に努め、一致団結して利用者の感染を食い止め、正常な運営を保つことができました。

2016 年 8 月、本会は東京都の審査と承認を経て、“認定”資格を有する NPO 法人組織となりました。5 年が経ち、“認定”の更新を行う必要がありましたので、昨年は、税理士の先生のご協力のもと、半年以上の準備期間を経て、昨年 12 月、“認定”を更新することができました。認定が更新されたということは、本会のこの 5 年間の活動が充分に認められたということであります。

2022 年度の事業実施方針は、先のことが見通せない状況下では、感染拡大に十分に留意しつつ、相談事業を行い、出来るだけ帰国者の心身の健康を保つよう、各教室活動、餃子工房、墓地管理を続けるしかないということになりました。感染状況がひどい場合は、ネットワークグループ方式をうまく活用し、ネット上での活動に主眼を置くこととします。

今年はちょうど、日中国交正常化 50 周年であり、また「国賠訴訟」提訴から 20 周年にあたる年でもあります。50 年前、日本と中国の国交が正常化し、日中関係に新しい一頁が開かれただけでなく、残留孤児の肉親捜しと帰国定住に門戸が開かれました。このため、日中国交正常化は、残留孤児にとって特別に記念すべき一大事であります。私達はこの二つの重大な事柄に絡めて一連の活動を行い、日中の友好のために新しい貢献をしたいと考えています。

第 14 回定期总会于 6 月 18 日下午在本会 B1F 活动室召开。大会认真听取了：2021 年度事业报告・活动决算，2022 年度事业计划・活动预算的报告。经过审议，大会一致通过了该议案。

本次总会是在新冠疫情反反复复持续不断的情况下召开的。两年多的新冠疫情打乱了我们的生活，影响了本会各项活动的正常开展。特别是 2021 年度在新冠疫情肆虐，东京都多次发出「紧急事态宣言」的情况下，也没有停止“社会福祉相谈窗口”的运营。在疫情期间，充分利用网络群组方式，以班为单位，分散在各地区，开展丰富多彩的活动，摆脱归国者在疫情期间的孤独和寂寞。在疫情期间，“饺子工房”受到了影响，包饺子次数减少了，但仍在坚持，保证饺子的市场供应，保住了“饺子工房”这块招牌；在疫情期间，墓地管理委员会，仍是风雨无阻，为逝世的归国者送上人生的最后一程。在疫情期间，介护事业部的「通所介护一笑苑」严防死守，没有发生一起老人被感染的事情，保证了「通所介护一笑苑」的正常运营。

2016 年 8 月本会是经东京都审查批准，具有“认定”资格的 NPO 法人组织，五年过去了需要“认定”更新。去年经过半年多的准备，在税理士的帮助下，于去年 12 月得以“认定”更新。认定更新的通过这是对本会过去五年工作的充分肯定。

2022 年度事业的实施方针是：在新冠疫情反复无常，无法预知未来的情况下，努力克服疫情的不利因素，办好相谈事业；在保证归国者身心健康的情况下，办好各类教室，饺子工房和墓地管理工作。在疫情严重的时候，要充分利用网络群组方式加强线上活动。

今年恰逢日中邦交正常化 50 周年和残留孤儿「国赔诉讼」提诉 20 周年。50 年前日中邦交正常化不仅使日中关系翻开了新的一页，也为残留孤儿寻亲和归国定居打开了方便之门。因此，日中邦交正常化对残留孤儿来说，是特别值得纪念的大事。我们要围绕上述两件大事，开展一系列的活动，为日中友好再做新贡献。

诚正之心　信之端也

（文：孫　蘭香　翻訳：張　狄）

前段时间在迴转寿司界颇负盛名的连锁店スシロー被媒体曝光做虚假广告。从这件事上了电视开始,本来座无虚席、每天中午都有几十人排队的スシロー一下子变得冷冷清清,中午饭口时间也有一半座位空着。这就是舆论监督的力量,你没有诚信,老百姓就给你点颜色看看!

这让我想起了多年前的一件事,那是日本的新年。家附近的一个大型连锁超市有巧克力詰放题的广告,商店一开门我就去了。当时只有我和一位有点うるさい的老太太。货架上没有巧克力,只有一些小零食供选择。我正纳闷,那位老太太手持广告质问店员,店员连忙找来负责人。负责人确认了广告内容,立刻令人把广告商品摆上货架,鞠了无数个躬陪礼道歉。我想这就完了呗,其实没有。商店的负责人又免费送给我们每人一袋。区区几百日元对商家对我们都不算什么,但是可以感受到商家道歉的诚意。

在日本及世界上的许多国家,人们把诚信看得比生命还重。也曾有过企业因为失信于民,社长自杀谢罪的案例。“对人以诚信,人不欺我;对事以诚信,事无不成”我们中国人自古以来就以诚实守信为美德,我们用“曾子杀猪”的故事教育孩子要童叟无欺。有句成语“君子一言驷马难追”也是说重承诺守信用。

曾几何时一个崇尚孔夫子“人而无信不知其可也”的民族,却出现了信用危机。虚假的广告、医生为钱卖药,教师为钱补课,官员为钱渎职。现如今,国内在大讲国学、讲儒家、讲孔子、讲“仁义礼智信”。中国顶礼膜拜了几千年、全世界都尊崇的儒家文化,我们却摒弃了几十年,想要重新找回来,还需要几代人的努力。

しばらく前に寿司界で有名なチェーン店、スシローが虚偽の広告を掲載したことがメディアに暴露された。この事件がマスコミに報道されるまで、毎日正午に何十人も並んでいる人気は一気に冷めた。この不祥事で客離れが広がり、お昼の時間も席が半分位空いている。誠実さに欠けている人や店は、人々が必ず遠ざかっていく。

何年も前のことを思い出した、旧正月頃、近くの大手スーパーにチョコレートの詰め放題のチラシが配られた。そのチラシを持って、開店と同時にお店に入った。 当時は私と一人の老婦人しか客がいなかった。 しかし商品棚には広告のチョコレートがなく、小さなスナックしか置いてなかった。 老婦人がチラシを持って店員を問い詰め、店員が担当者を探しまわった。 担当者は広告内容を確認し、すぐに広告商品を棚に置き、繰り返し謝罪してくれた。 私はもう解決したと思ったが、実際にはそうではなかった。 店長は私たち一人一人に袋ごとチョコレートを贈った。 たった数百円で大した金額ではなかったが、お店の人の誠意を感じさせられた。日本や世界の多くの国々では、人々は命よりも信用を重んじている。 また企業には、不正がバレて社長が自殺して謝罪するケースもあった。 中国では古くから「真心を持って人に接せば、人は私を欺かない；真心を持って物事に対応すれば、損はしない」という諺がある。「一言既に出ずれば駟馬も追い難し」ということばは、信用の大切さを言ったものである。

しかし孔子は曰く「人にして信なくんばその可なるを知らざるなり」を信条とした我が国は、信用危機に陥った。 おとり広告の蔓延、 医者はお金のために薬を売り、教師は授業をサボり、塾で金を稼ぐ、役人が賄賂のために汚職する等など。 それを見ると、心が痛む。

いま中国では、国学、孔子そして「仁義礼智信」が再び重視され始めた。しかし 何千年もの間世界中で尊敬されてきた孔子の思想は、何十年にもわたって批判されていた。人々の考えを正すために、何倍ものの長い時間の努力が必要ではないだろうか！

昨天 打了疫苗后我觉得很困，8 点多就睡下了。平时我的习惯是早睡了要给家人发信息的，可是昨晚却没发。家里人都来询问我晚上有没有发烧……可是我一概不知道！他们都觉得不太正常，就让小孙子过来看看我！结果什么门铃、手机、座机全部没听见。这样国内外的家人全部慌了手脚！楼下的管理员说要找消防人员破门探究！我小孙子联系了消防部门、很快就开过来三台消防车、一台救护车！我朦胧中听消防车的声音，会不会我们楼里出现火情了！立即起身。这时手机响了、门口有敲门声！小孙子：姥姥别怕是我！我到这个门口看：门划上有谁将绳子系上了？从门外可以将绳子系上？这时我打开了门，十几个消防士亲切的询问我……我只是因为疫苗的作用、睡的太沉了！在确定我无事后他们才打道回局。你们知道我之后和国内外的家人是什么感觉吗？只因为家人联系不上我、就动用这大的力量来救护一个老人的生命！我无法用语言来表达我的感谢之情。

（村松　緑）

ある二世の履歴書（連載②）

（文・翻訳：小野　隆輔）

小川は一年後に運送会社を辞め、貿易会社と解体会社に転職 1991 年に中国人の女性と結婚。

25 歳の時に第一子を儲けたが、その翌年に最愛の父親が病気の為世を去った。 26 歳の時第二子が生まれた彼は増々頑張らないと。昼は勤務しながら夜は職業訓練学校へ通い、電工学を勉強して半年後に第二種電気工事士の免許を取得。27 歳の時職業訓練学校で知り合つたクラスメイトの誘いでエレベーター点検保守等の会社に転職，経験不足の為転職して僅か半年後のある日、先輩と二人でモーターを点検中ワイヤーに親指が巻き込まれ、切断という大けがを負ってしまった。切断された親指を何とか接着したが、永久に元に戻らない障害を持ってしまった。

怪我が原因で仕事を辞めてしまい、転々としていた。転機がおとずれたのは親戚から中古の家電が売れると言う話が入り込んで来た時のことだった。

チヤンスだと考えた彼は、最初日本に来たころよく同じ境遇の人と一緒にあちこちの粗大ごみ置き場で家電や家具を拾ったことを思いだし、その経験をいかしてすぐに沢山の古い家電を集めることができた。

早朝 2 時半に起き夜中 0 時まで死に物狂いで働いた。

小さい電気店から大手家電量販店まで、次から次へと営業が成功して大量の中古家電を集め、その生活２年以上つづいた。その後中国は中古家電の需要が減少し陰りが見えた。30 歳になった彼は今までの経験に活かして国内販売のリサイクルショップを経営し始めた。

最盛時四店舗を持つまで成長した彼は新しい事業を挑戦しようと思い、埼玉県で 4 百坪の土地を買い、家電から金属スクラツプ買売の事業をやり始めた。時折挫折し―喜一憂しながら事業を拡大した。2 年後に同じ埼玉県で第二営業所を開設。国内だけではなく海外へも輸出し始めた。事業が順調に進み私生活では 33 歳の時駅近くに居住兼店舗として 1 棟の中古ビルを買った。39 歳の時第三子が生まれたと同時に長男と次男を海外へ留学させた。

小川在一年后辞去运输公司的职务，转行加入贸易公司和拆迁公司，1991 年与中国女性结婚。

他 25 岁时有了第一个孩子，但第二年，最爱的父亲因病去世了。 26 岁时他有了第二个孩子，他必须更加努力地工作。 白天工作，晚上工作，晚上上职业学校学习了电气工程。六个月后，得到了第二类电气工事士的资格。在 27 岁时，在职业学校认识的同学的邀请下，他换了工作，因为缺乏在电梯检查和维护等公司工作的经验，半年后的一天，在和一位前辈在检查电机时，拇指被卷入电线中切断。虽然经过治疗接上了切断的拇指，但留下了永久无法恢复的障碍。

由于受伤，又一次辞去了工作。也在这时，人生最大的转机来临了。有人告诉他，二手家电可以卖。他想起刚刚来到日本时，经常和处境相同的人一起在垃圾场捡家电和家具。按以往的经验，很快收集到很多旧家电。

他经常凌晨两点半起床，疯狂地工作到午夜。

通过不懈的努力，从小型电器商店到大型消费类电子产品零售商都成了他的顾客，收集到了大量二手家电。这样的生活持续了两年多之后，中国市场对二手家电的需求下降，经营开始出现阴霾。于是在 30 岁时，他利用自己的经验，转型经营一家二手店。

最繁盛时，他拥有四家店铺。后来他又尝试开展新的业务，在崎玉县买了 400 平方米的土地，不仅家用电器也开始收集金属。 经营的过程中有成功也有挫折，两年后，在崎玉县开设了第二家营业所，贩卖对象不仅限于日本，还出口到海外。

在 33 岁时，他在车站附近买了一栋二手建筑。第三个孩子在 39 岁时出生，同时让大儿子和二儿子出国留学。

（次号に続く）

未觉三夏尽，时序已新秋。

不知不觉，夏天将逝，日历即将翻到秋天。

虽然暑意并未褪去，空气里却渐渐透出凉意，阵阵清风携着秋意袭来，树叶在风中摇曳响动。

凉风有信，或者你不以为意，但它却向万物传递着秋的信息。

我们在夏与秋之间，默默感受这如水的流光。惟愿它无止无尽，清澈如昨。

心の声

（文：渡辺　翻訳：張狄）

我是住在横滨的孤儿二世，我叫渡边。

三十年前，我跟随残留孤儿的母亲来到日本。同一时期我的丈夫也和残留孤儿的父亲归国。 回到日本后，我努力工作，尽量不给国民和社会带来麻烦。 我丈夫是个沉默寡言的人，日语说得不好。为此，在工作中遇到了许多不合理的事情，甚至有时工资都拿不到。 尽管如此，我丈夫还是咬紧牙关，忍受了很久。

去年 12 月 27 日，我丈夫所在会社的社长再次提出不合理的要求，并用脏话骂他。 我丈夫长久以来聚集的怒火被点燃，开始反抗。社长骂他:“你滚回家吧”。 我丈夫当时从东京的现场回家了。 回家后我们计算了一下，几年累计被拖欠的工资大约有 350 万。

第二天，我向社长追讨。 社長承认拖欠，但拒绝支付。 我给神奈川县和横滨市的归国者支援团体打电话寻求帮助，但没人搭理我们。 我们两人不知所措。

当时，在熟人的介绍下，我给 NPO 中国归国者日中友好之会打了电话。 咨询人员非常和善，他们理解我的忧虑，并建议我咨询藤泽市劳动基准监督署。我找到劳动基准监督署，担当者听到情况，很惊讶，并表示“太过分了”。同时联系社长让他去劳动基准监督署。 然而，社长要么不答应见面；要么答应见面却食言。担当者找到社长家，也吃了个闭门羹。就在这时，社长向相模原劳动标准监督局提交了虚假的“第三方行为灾害报告”。收到相模原劳动局的调查报告。 看到内容后，我由于恐惧和愤怒而全身发颤。 立即与劳基署担当者交谈，却被告知，“我们无法再做任何事情了”。 我只能再次联系日中友好之会。

友好之会的相谈员表示:“我们别无选择，只能提起诉讼”。并介绍了理事清水洋律师，清水律师接受了我的委托。 想到我的住所在横滨市，他联系横滨联合律师事务所的清水俊律师。 在调查中得知，清水先生也是“残留孤儿”国家诉讼辩护律师团的成员，他为制定和改善新的孤儿支援政策做出了巨大努力。而且他一直以来都在做归国者支援的活动。二十年前，我和我丈夫的父母得到清水先生的关照；现在清水先生父子又在帮助我和我丈夫，真是感慨万千。

周围有很多孤儿二代，他们参加任意团体，每天聚在一起唱歌跳舞。 有人经常建议我，“如果你和我们一样吃生活费，生活绝对比现在更容易”。然而，我认为，我父母一代和清水先生这样的支持者经过长期斗争得到的尊严，不能被我的手抛弃。大多数二代带着对日本社会的向往而回国，我理解那些被严酷的现实所打击，不得不接受生活保护的人。但是我无法理解那些工作时也不支付养老保险，打定主意要依靠生活保护的人。

人们常说，日本是世界上最平等的国家之一。平等可能很重要，但我希望这个平等是建立在“努力就会有回报”这样公平和公正的基础上的。

私は横浜在住の残留孤児 2 世で渡辺と申します。

30 年前に、残留孤児の母親について帰国した。夫も同じ時期に残留孤児の父に連れられ帰国した。日本に帰国してから、一生懸命働いて、人や社会に迷惑をかけないよう、心掛けしている。夫は無口な人で、日本語がうまく喋れない。そのために、仕事中に理不尽なことが沢山あって、給料もしばしば払われなかったりした。それでも夫は歯を食いしばってずっと我慢していた。

去年 12 月 27 日に、また勤め先の社長に無理な要求をされ、しかも汚い言葉でののしられた。やり場のない怒りに駆けられ、反抗したら、「お前は歩いて帰れ」、と言われた。その場で主人が家に帰った。帰ってきて二人で計算したら、約 350 万の未払い給与があった。

翌日から、社長に交渉し始めた。社長は未払いを認めたが、払うことを拒否した。助けを求めるために、神奈川県や横浜市の帰国支援団体に電話をしまくりましたが、どこも相手にしてくれなかった。二人は途方に暮れていた。

その時、知人の紹介で NPO 法人中国帰国者・日中友好の会に電話を入れてみた。相談員の方がすごく親切で私の悩みを聞き、藤沢市労基署に相談して、とアドバイスしてくれた。

労基署に足を運んだ。担当の方が事情を聞いて、「ひどい」、と驚き、勤め先の社長を呼び出そうとした。しかし、社長は呼び出しには応じなかったり、会う約束をしたのにドタキャンしたりしていた。担当者が社長の自宅を訪問しても門前払いにされた。ちょうどその時、社長は相模労働基準監督署にうその「第三者行為災害報告」をしたため、相模原労基署から調査書が届いた。それを読んで、私は恐怖と怒りで体が震えた。労基署の担当者に相談しても、「これ以上何にもできない」、と言われた。仕方なく再度日中友好の会に連絡した。

「裁判を起こすしかない」、と相談員は友好の会の理事である清水洋弁護士を紹介してくださった。先生は快く私の委託を受けていただいた。私の住居が横浜市にあることを考えて、ご子息で横浜合同法律事務所の清水俊先生を紹介してくださった。聞き取り調査のうちに、清水先生は「残留孤児」国賠訴訟弁護団の一員でもあり、残留孤児新支援策の制定に多大なるご尽力をした方で、ずっと帰国者に関心を寄せているのを知った。20 年前に、私と主人の親が清水先生のお世話になって、今の私たちもまた先生親子のお世話になり、本当に感無量だった。

周りに生活保護を受けている 2 世がたくさんいる、彼らは任意団体に参加し、合唱や踊りで日常を楽しんでいる。よく私に対して、「生活保護を受ければ、絶対いまより楽だ」と勧めた。でも私は親や清水先生のような支援者が長い戦いで手に入れた尊厳は、自分の手で捨てたくない、と思っている。ほとんどの 2 世は日本社会への憧れを抱いて帰国したが、その中に現実に打ちひしがれ、意気消沈し、国の世話になっている。そういう事情は理解できなくはないが、若い時から国の世話になるつもりで年金も払わない人は、私には理解できません。

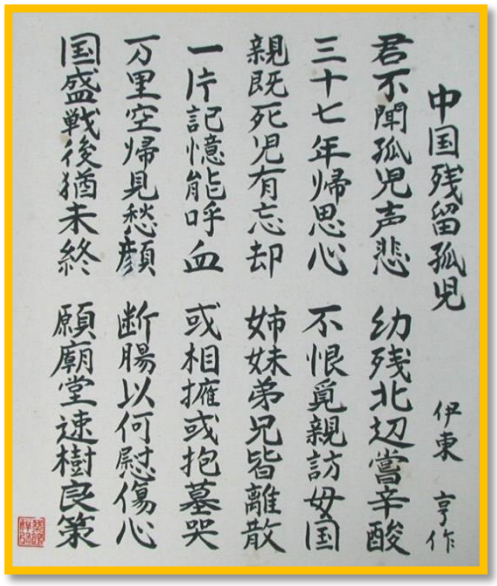
日本は世界でも屈指な平等な国だとよく言われている。平等は大事かもしれないが、その前提は「努力が報われる」という公平・公正であってほしい。

伊東　章先生のご略歴

1937 年 7 月 27 日　旧満州国哈爾浜市生れ
1959 年～1995 年　商社勤務
1996 年～2021 年　著述業
2021 年 11 月 8 日　逝去（享年 85 歳）

商社勤務の後、ライフワークとして、オーストリー国ウイーン市に在住し、著述業に専念し、中世から近世に至るヨーロッパのラテンアメリカ開拓に係わる史実の解釈本として、世界各地から収集した約 1500 冊の蔵書を克明に調査、分析し、四半世紀に亘って 11 冊の著作を出版しました。

No.	タイトル	出版元	刊行年月
1	金は巌も崩す	鳥影社	2015.12
2	コロンブスに習うスペイン語：ことばの自転	鳥影社	2012.09
3	スペイン市民戦争・三十二カ月の叙事詩：報道にみる二つの側面	鳥影社	2009.10
4	マニラ航路のガレオン船：フィリピンの征服と太平洋	鳥影社	2008.04
5	南の悪魔フェリッペ二世	鳥影社	2006.10
6	不滅の帝王カルロス五世	鳥影社	2005.08
7	マゼランと初の世界周航の物語	鳥影社	2003.07
8	コロンブス夜話：現代秩序の基を築いた男の実像	鳥影社	2002.03
9	ラス・カサスの世界	日本図書刊行会近代文芸社	2000.04
10	ムッソリーニ夜話：二十世紀を造り損ねた男の素顔	近代文芸社	1998.01
11	コロンブスの真実	近代文芸社	1995.01



常日頃から体力増進・維持に努め、百歳目標で健康管理を明言し、兄弟に対しては、「満州からの引き揚げ前後の労苦から若くして亡くなった母の分を、平均寿命にプラスして、自分の目標寿命にするように」というのが口癖でありました。

父の伊東 亨が生前に万感を込めて作詩した漢詩「中国残留孤児」を見るたびに、この世でもっとも愚かしい戦争で人生を大きく狂わされ、翻弄されてきた中国残留日本人孤児の人たちに対し、特別の切々たる想いが込上げて来て、胸が熱くなります。現在のウクライナ戦争に焦点を当てると、満州から引き揚げる前年に、銀行の支店長だった父がソ連軍の将校から呼び出され、危険を感じた父が機転を利かして、長男の伊東章（当時 8 歳）を連れて尋問に毅然と対峙して、難を逃れたことが想い起されます。

晩年の 3 年間は、医者嫌いの兄にとっては苦渋の連続でしたが、12 冊目の本の執筆完成間近で永眠いたしました。

生前から恵まれない方々に寄付を行いたい強い意志があり、この度の遺贈寄付を是非ともお役に立てていただければ、故人も本望であります。（2022.5.21 兄弟姉妹一同）

この度、故伊東章様よりご令弟の伊東敏様を通して多額のご寄付を賜りました。私と同じ旧満州からの引揚げの方で、残留孤児の苦労に心を痛めておられたそうです。敏様が故人の「恵まれない人たちに寄付をする」という遺志を汲み中国帰国者・日中友好の会を選定くださいました。

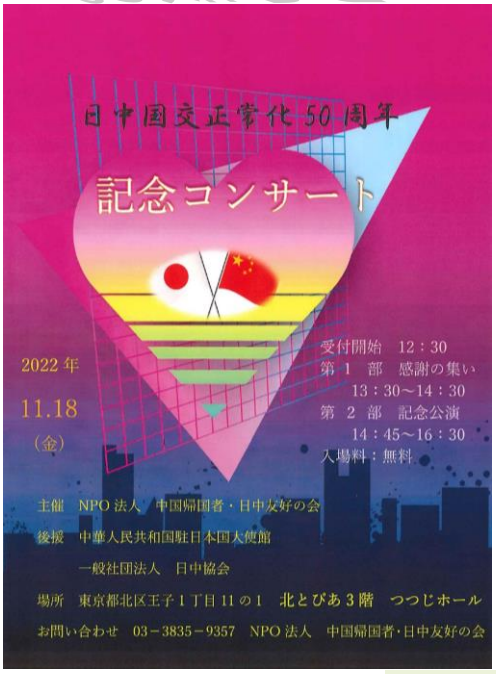
章様は多くの著書がある教養人、章様と敏様の父上伊東亨様は「中国残留孤児」という題の同情心に溢れる漢詩を作られた優しい方と知りました。伊東家の心ある「志」としての遺贈 3000 万円は、金額の大きさも勿論ですが、いただいた「心」も孤児や支援者にとって大きな感動と励ましをもたらしました。心からの感謝と敬意を表したいと思います。これで中国残留孤児の家の財政的基盤は強固になりました。ありがとうございました。（河合　弘之）

祝:日中国交正常化 50 周年

認定「NPO 法人　中国帰国者・日中友好の会」活動記録
（令和４年２月～令和４年８月）

2 月～8 月	写真家白幡一茂が取材に来所
3 月	『黒竜江出版社』の残留孤児に関する本の日本語版の校正に協力
3 月 30 日	2 年ぶりのお花見を開催
4 月 16 日	弊会の活動室にて「懇親会」が開かれ、野田毅・みどりご夫妻が出席された
6 月 1 日	「日中商報」に池田理事長を紹介する文章が掲載された
6 月 18 日	第 14回定例総会が開催
7 月 20 日	NHK の大森暁彦ディレクターが来会
7 月 13 日	厚生労働大臣面談に、本会より、孤児5人、弁護士 2 人が参加した
7 月 21 日	毎日新聞の飯田憲記者が取材のために来会
8 月 21 日	荒野座の公演に、本会合唱班がゲスト出演した、過能国弘、高橋カツがアフタートークを行った
8 月	毎日新聞社が行った孤児3世に関するアンケート調査に協力

お知らせ



《家園》編集委員（第 28 号）

白 山　明 徳	河 村　忠 志
張　狄	孙　妮
春　暁	祖父江　安紀子
写真撮影　二田口国博　入澤美和子	
レイアウト　松本莉恵	

編　集　後　記

秋天的十大雅事，你知道是什么吗?

拾秋叶　望秋月
观残荷　闻桂香
品秋茶　食秋果
赏秋菊　听秋雨
登秋高　闲秋居

♪会報のバック・ナンバーお読みになれます♪

よろず相談窓口：　平日１０：３０～１５：００　日本語・中国語対応
TEL:03-3835-9357